

『幸せの定義』

作詞 J'Soul (浅羽一)

どしゃぶ
土砂降りの雨の午後に一人 たぶん明日も雨だろうと思いながら
無機質なテレビの天気予報をつけた
久しぶりの君とのデートなのに お気に入りのデートコースもたどれなくて
ため息混じりにやるせなさを吐き出した
偶然の重なりがいつも 僕の小さな憧れを流して消える
安っぽい見栄さ 下らない意地さ 君はそんな事は気にせずに笑うけど
何があれば人は幸せになれるのだろう
何がなければ人は不幸から逃れられるのだろう
何を見つければ人は幸せになれるのだろう
何を捨てれば人は不幸から逃れられるのだろう
あ
在り来たりなだけの日常の繰り返しを 微笑みながら幸せだと言える
そんな未来にいつか僕も…そんな未来に君と二人でいられたらと

予報通り朝からの雨に 傘を差して待ち合わせ場所まで歩いた
濡れた街に咲いた花を持つ人込みの中
少しだけ君より早く着いて 傘が弾く雨音を聞きながら待った
携帯は鳴らさずドキドキを楽しんだ
突然のイタズラがそっと 僕の後ろから背中を叩いて呼んだ
変わらない君と 変わらずに出会う 大げさに驚くふりもあの頃のまま

■繰り返し

ひと
他人から見れば些細な事を 特別大事に抱えていたり
退屈しのぎに馬鹿をやる日もある
何が幸せかなんて まだはっきりとは分からないけど

■繰り返し